



海外赴任者の健康のために会社ができること

第 294 回

倉内さん：みらい先生、こんにちは。わたしの会社は比較的大人数の赴任者を海外に派遣しているのですが、海外赴任者の健康管理について難しさを感じています。

みらい：こんにちは、倉内さん。特に最近では赴任先の国によって新型コロナウイルス対策の方針が異なることもあって、海外赴任者の健康管理は大変ですよ。

倉内さん：そうなんです。海外赴任者については、各国の事情や個人の健康状態を把握するのが難しく、国内の社員以上に対応に悩みます。実際に体調不良になってしまった時の想定も含め、何か準備しておくべきことはありますか？

みらい：そうですね。新型コロナ対策と同様に、医療機関の事情も各国で異なります。医療の質や、予約の取りやすさ、治療費の負担、言語コミュニケーションの問題など、課題はさまざまです。

もしもの時に備えて、診療までの流れや費用負担の有無などについて、赴任前にご本人と情報を共有しておいてください。また、海外旅行保険会社とも連携しながら、日本語の通じる病院や保険を利用できる病院の情報を集めておくことや、特にお子さんを連れて家族で赴任している場合などは、小児科対応がある病院の情報も収集しておくといいでしょう。

倉内さん：なるほど。事前の情報収集と共有が肝要なのですね。実際に医療機関を利用した場合は、本社は何をすべきでしょうか？

みらい：赴任先で医療機関で受診した場合、まずは海外旅行保険を使うことになります。そのときの対応について、保険会社と連携していただければと思います。加えて、治療内容によっては日本の健康保険の療養費の請求ができることがあります。申請に必要な書類等をご本人に伝えて、手続きができる体制をつくっておきましょう。

倉内さん：わかりました！他に何かできることはありますか？

みらい：まずは赴任前の健康診断を受けることですね。それに加えて、既往症や現在服用している薬などがあれば、そういった情報も共有しておきたいところです。服用薬によっては持ち込みが難しい場合もあるため、海外でも使える薬かどうか、ご本人と一緒に確

認をしておきたいですね。

倉内さん：赴任前健康診断ですね。それ以外にも、予防接種の確認が必要ですよ。

みらい：そうですね。予防接種は、国によって接種しておくべきものが異なるので、赴任先に応じて確認をしてください。ちなみに、予防接種自体は「必ず受けないとダメ」というものではないので、会社として接種を強制することはできません。ご本人の希望も考慮して、対応するようにしましょう。

倉内さん：わかりました。その他、赴任者が現地で健康に過ごすために日本から支援できることはありますか？

みらい：ぜひこまめに連絡を取っていただき、海外赴任者の不安をケアしてもらえればと思います。特に赴任してすぐの間は、環境の変化だけでなく食事や水に慣れない等の理由もあって、体調を崩しやすいものです。困ったときに頼れる人がいない状態は、メンタルヘルスにも影響してしまいますので、会社としてもサポートしてあげてください。

元気に前向きに生活してもらうことが健康維持の何よりの秘訣であり、海外事業の成功にもつながると思います！

倉内さん：そうですね。海外赴任者からは、周囲に友人がおらず孤独を感じることもあると聞いています。社内の海外赴任者同士で悩みを共感しあえるコミュニティを作るなど、心身ともに健康で頑張ってもらえる環境を整えたいと思います。ありがとうございました！

< 筆者紹介 >

みらいコンサルティンググループ

(本社：東京都中央区・国内 10 拠点)

現地法人：中国 (北京・上海・深セン) ・マレーシア (KL) ・ベトナム (ハノイ・ホーチミン) ・シンガポール・タイ (バンコク)

JapanDesk：米国 (LA) ・中国 (大連) ・台湾・香港・ミャンマー・フィリピン・カンボジア・インドネシア

URL：http://www.miraic.jp/